

国際開発学会ニューズレター原稿（2013年7月15日号）

「原発震災から再考する開発・発展のあり方」研究部会

部会代表 重田康博

2013年度合宿 「原発のない地域開発を考える—三重県・芦浜現地視察—」

共催：東海支部

- ・ 日程：2013年5月11日（土）・12日（日）
- ・ 場所：三重大学（11日）、三重県南伊勢町・大紀町・芦浜（12日）
- ・ 参加者：11日23人（公開）、12日9人（限定）

（11日）研究会

- ・ 主催者挨拶：吉井美知子（三重大学・「原発震災から再考する開発・発展のあり方」本研究会幹事）
- ・ 研究発表(1)：「再居住計画と『補償』を読み解く 序説— マーシャル諸島の米核実験被害地の未来を見据えて」（発表者：竹峰誠一郎 明星大学人文学部准教授）
- ・ 研究発表(2)：「福島の実状と市民」（発表者：坂本恵 福島大学教授）
- ・ 講演：「原発を来させなかった町—芦浜原発建設計画—」（講師：柴原洋一 「原発おことり三重の会」事務局長）
- ・ 御礼の挨拶：野田真里（中部大学・東海支部幹事）

（12日）現地視察

- ・ 南伊勢町（旧南島町）古和浦にて、小倉正己氏（元フル和浦漁業組合理事）、小倉紀子氏訪問・聞き取り
- ・ 古和浦港より漁船にて芦浜視察クルーズ
- ・ 大紀町（旧紀勢町）錦地区にて、山川和基（前大紀町議員）訪問・聞き取り

（謝辞）研究会にてご発表を頂きました皆様、および現地視察でのご対応を頂きました皆様に心より御礼申し上げます。また、コーディネーターをおつとめいただきました小室豊氏、ご案内人をおつとめいただきました、廣 達也氏、早川しょう子氏に心より感謝申し上げます。

（文責：野田真里）